

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部（第7回）

議事録

日時：平成29年4月4日（火） 8：15－8：25

場所：官邸4階大会議室

出席者：安倍内閣総理大臣、麻生副総理・財務大臣・内閣府特命担当大臣、菅内閣官房長官、高市総務大臣・内閣府特命担当大臣、金田法務大臣、岸田外務大臣、松野文部科学大臣、塩崎厚生労働大臣、山本農林水産大臣、世耕経済産業大臣・内閣府特命担当大臣、石井国土交通大臣、山本環境大臣・内閣府特命担当大臣、稲田防衛大臣、今村復興大臣、松本国家公安委員会委員長・内閣府特命担当大臣、鶴保内閣府特命担当大臣、石原内閣府特命担当大臣、加藤内閣府特命担当大臣、山本内閣府特命担当大臣、丸川東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣、萩生田内閣官房副長官、野上内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官

【丸川大臣】

ただ今から、「東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部」の第7回会合を開催いたします。

進行を務めさせていただきます丸川でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入らせていただきます。まず、議題1について、資料1をご覧ください。

《2020年東京大会に向けたセキュリティ基本戦略について》

本日をもって東京大会の開会式まで、あと1207日となりました。

大会成功に向けた最重要課題の一つがセキュリティ対策です。

テロ事件が世界各地で続発し、サイバー攻撃の脅威も深刻さを増すなど、セキュリティ情勢は予断を許さない状況にあります。また、自然災害にも十分な留意が必要です。

このような情勢を踏まえ、政府において「セキュリティ基本戦略」を取りまとめましたので、ご報告します。

まず、基本的な考え方として、「大会の安全・円滑な準備及び運営、継続性の確保」と、「テロ等の未然防止とサイバー攻撃によるものを含めた緊急事態への的確な対処」を掲げ、大会セキュリティについて政府としての責任を果たす姿勢を明らかにしました。

また、大会期間中に24時間の連絡・調整態勢を確保するために「セキュリティ調整センター」を官邸に設置するほか、「セキュリティ情報センター」を警察庁に設置し、大会の安全に関する情報の収集・分析を強化することとしました。

加えて、主な対策として、会場・選手等の安全確保、重要サービスの継続性確保、サイバーセキュリティ対策など10項目を掲げております。そのうち「国際連携の強化」については、テロ等準備罪処罰法の整備による国際的な枠組みへの参画の更なる充実についても掲げています。

なお、対策の推進に当たっては、市民生活や社会経済活動への配慮などに十分注意をしております。

大会を通じて「世界一安全な日本」を世界に発信できるよう、東京都、組織委員会等と緊密に連携し、政府一体での一層の取組の推進に努めてまいります。

《2020年東京大会における日本の食文化の発信に係る取組状況について》

次に議題2について資料2をご覧ください。

昨年12月に食文化発信関係省庁等連絡会議において議題とした持続可能性に配慮した食材調達基準が3月24日の組織委員会理事会で決定されました。東京大会で国産の食材ができる限り多く活用されるためにGAP等の認証の取得を急ぐ必要があり、普及が進むことで農産物等の輸出の促進につながることを期待されます。

今後、基準を満たした国産食材の生産が促進され、大会関係施設で活用されるよう関係省庁等と連携して取り組んでまいります。

《ユニバーサルデザイン2020行動計画について》

次に議題3について資料3をご覧ください。

今年2月に「ユニバーサルデザイン2020（ユニバーサル・デザイン）関係閣僚会議」を開催し、総理や障害者団体の皆様の出席を得て、共生社会の実現に向けた行動計画を決定しました。特に、「①国が障害者政策を検討する際に、その立案段階から障害当事者に参画いただくこと」、「②学習指導要領改正を通じ、全ての子どもたちへの「心のバリアフリー」教育を実施すること」、「③街づくりのユニバーサルデザインに関する法律を含む諸制度の見直し」に取り組むこととしました。

大会を契機として共生社会を実現していくため、関係省庁等と連携して一層の取組の推進をお願いします。

《beyond2020プログラムについて》

次に議題4について資料4をご覧ください。

大会を文化の祭典としても成功させるため、政府として文化プログラムを「beyond2020（ビョンド・ニゼロ・ニゼロ）」として認証し、ロゴマークを付与することといたしました。今年1月に、認証を開始しました。

2020年以降を見据えて日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に取り組んでまいります。

《ラグビーワールドカップ2019の準備状況について》

次に、議題5に移ります。資料5をご覧ください。

「ラグビーワールドカップ2019の準備状況」について松野文部科学大臣より、ご説明をお願いいたします。

【松野大臣】

資料5をご覧ください。「ラグビーワールドカップ2019の準備状況」について、本年度の大きなイベントとして、5月10日、京都・迎賓館にて組合せ抽選会が開催されます。本決定を受けて、秋頃にはラグビーワールドカップリミテッドより試合日程が発表される予定となっております。

この他、大会の準備として、総務省と連携して新たに地方財政措置を創設しております。また、本年秋以降、公認キャンプ地が順次決定していく予定です。

ラグビーワールドカップ2019を国として支援し、成功に導くため、閣僚の皆様におかれては、2020年東京大会との一体的な準備に配慮しつつ、積極的な取組をお願いいたします。

【丸川大臣】

ありがとうございました。

議題のほか、被災地の復興の弾みとして、福島県における野球・ソフトボールの実施が決定されましたので、これを含む追加競技の会場の決定状況に係る参考資料等をお配りしておりますので御確認ください。

次に、構成員の皆さまからご発言をお願いします。事前登録のあった方から、簡潔にお願い申し上げます。まず、①金田法務大臣、お願いいたします。

①金田法務大臣

法務省としては、国際組織犯罪防止条約の国内担保法であるテロ等準備罪処罰法案の整備について、引き続き、注力してまいります。

②松野文部科学大臣

文部科学省といたしましては、ユニバーサルデザイン2020行動計画に関して、学習指導要領の改訂も踏まえ、全ての子供達に「心のバリアフリー」教育を推進し、共生社会の実現を目指します。

また、全国各地で文化プログラムを推進すべく、組織委員会や関係省庁等と連携し、認証制度の普及や、様々な文化プログラムの実施に取り組んでまいります。

③山本農林水産大臣

農林水産省としては、日本食・国産食材の魅力を十分にアピールできるようGAP認証の取得など、生産者の取組をしっかりと支援してまいります。

④世耕経済産業大臣

経済産業省では、サイバーセキュリティの確保のため、(独)情報処理推進機構(IIPA)を活用し、各省とも連携しつつ、重要インフラの安全性の確認や、サイバーセキュリティ対策の中核を担う人材育成に取り組んでまいります。

加えて、beyond2020とより一層連携し、クールジャパン・地域の魅力の発信も充実させてまいります。

⑤石井国土交通大臣

国土交通省としては、円滑な輸送対策や外国人旅行者の訪日促進のほか、ユニバーサルデザインの街づくりに取り組んでまいります。

⑥山本環境大臣

先般、組織委員会から、大会のメダルを小型家電のリサイクル金属で作成するというプロジェクトが発表されました。全国民参加型の大変有意義な取組であり、環境省としても全力で支援してまいります。

このほか、暑さ対策や低炭素化、3Rの推進等にも引き続き取り組んでまいります。

⑦今村復興大臣

福島県での野球・ソフト、宮城県でのサッカー開催は「復興五輪」に大きな力になります。また、この機会に被災地の食材等の活用などをお願いいたします。

岩手県釜石市でのラグビーワールドカップについても、取組を進めてまいります。

⑧松本国家公安委員会委員長

警察といたしましては、厳しい国際テロ情勢を踏まえ、東京大会の円滑な運営と、安全確保に向けた諸対策を推進してまいります。

【丸川大臣】

ありがとうございました。発言はここまでとさせていただきます。

それでは、ここでプレスが入室します。

[プレス入室]

【丸川大臣】

安倍内閣総理大臣からご挨拶を頂きたいと存じます。よろしくお願いいたします。

【安倍内閣総理大臣】

東京大会の開催を3年後に控えた今、世界一の大会とすべく、準備を一層加速させていく必要があります。

まず、セキュリティの確保は大会成功の大前提であります。大会の安全・円滑な準備及び運営とともに、その継続性を確保することは開催国政府として重要な責務です。

そのため、今般、具体的な対策をセキュリティ基本戦略として取りまとめたわけですが、大切なことは一つ一つ確実に実行に移していくことです。

国会に提出したテロ等準備罪処罰法案の成立などのテロ対策やサイバーセキュリティ対策を含め、関係機関等の緊密な連携の下、それぞれがなすべきことを自ら考え、各種対策にオールジャパンで取り組んでいただきたい。

また、野球・ソフトボールの福島県での開催が決定しました。これにより、復興五輪や地域活性化の弾みとしてまいります。

パラリンピックについては史上最高の盛り上げを実現するとともに、「ユニバーサルデザイン2020行動計画」に基づき、共生社会の実現のための取組を進めてまいります。

あわせて、ラグビーワールドカップ2019についてもしっかりと準備を進めてまいります。

さらに、東京大会を文化の祭典にするため、政府の文化プログラム「beyond2020」や食文化の発信を通じ、文化的な取組を全国に広げていきます。

このような方針の下、閣僚の皆様におかれては、組織委員会、東京都や関連機関との連携・情報共有を密にし、政府一体で取り組んでいただくようお願いいたします。

【丸川大臣】

安倍総理、ありがとうございました。

それでは、報道関係の皆様はここで退室をお願いいたします。

[プレス退室]

【丸川大臣】

本日の会合はこれで閉会とさせていただきます。

本日の議事内容については、配布資料を含め内閣官房から公表することを予定しております。

ので、ご了承ください。

本日はありがとうございました。